

AYSA 会員数 52名
(周南38、西部 13、中部 1)

R5.1.31 現在 前月比+1

AYSA便り



～令和5年1月度部会活動報告～

子供育成・環境部会

★おもちゃ病院

1月 15日(日) 13:30～15:30 岐山市民センター 13個診断治療

1月 28日(土) 10:00～12:00 光市山手医院 コロナ感染防止のため中止

★周南少年少女発明クラブ(岐山小学校)

1月 14日(土)13:30～16:00 アイディア工作1(自由研究) 講師:クラブ指導員

1月 28日(土)13:30～16:00 アイディア工作2(自由研究) 講師:クラブ指導員

交流啓発・健康福祉部会

★ウォーキング同好会…1/21(土) 遠石八幡宮参拝ウォーキング

「周南緑地公園コース」

参加者 11名 9,700歩

https://www.aysa.jp/kenkoufukushi_report.html 参照ください。

西部部会

西部部会 1/26(木)13:30～ 15:30 宇部市民活動センター 参加者 12名

(テーマ) 「コロナールは何故無くなった？」

～ジェネリック医薬品から見たGMPと日本の医薬品対策

(講師) 安宅 喜久雄氏(AYSA 西部部会員)

(内容) 1.プロセスケミストリーとGMP

2.GMPとは

3.コロナールが薬局から消えた?その経緯

4.GMP から考えると不正というよりでたらめな製造

5.一社にとどまらない不正

6.ジェネリック医薬品会社の体質 ……………他

(感想)

今回のセミナーで、医療業界と医療行政が抱えている課題が多くあることを垣間見た気がした。1990年代後半から始まった日本の医療システムのビツグバンは、巨大資本を持つ米国に攻め込まれたといっても過言ではない。特に昨今では、2025年問題と言われている医療費の急激な拡大は避けて通れない課題である。

その為、医療行政における医薬業界へのプレッシャーは相当なものがあると思われる。日本の医薬品業界は、新薬を開発する大手企業とジェネリック医薬品の製造する中堅企業(数百社の乱立)とに2分されており、特にセミナーの中で説明されていた医療費削減の為の「薬価」引下げ競争は相当なものがあると。

その為、製造段階でのGMP(Good Manufacturing Process)が無視されているケースが多発しているのでは。その具体的な事例をお聴きすると、今回のテーマである「コロナールは何故無くなった？」だけでなく、他のその実情もよく理解できた。

米国は、FDAの役割機能が充実しており、医療業界で巨大資本を有する米国の地位はゆるぎないものであることが良く分かる。日本の皆保険制度システムを持つ医療業界市場は米国にとって絶好の標的の的となっているのだろう。

今回のセミナーで、改めて日本の医療業界の制度改革の課題解決が多難であることがよく理解できた。



地域活動部会

★児玉神社・公園清掃 1月7日(土) 8:00～

国際支援・人材支援部会

【部会】 1月11日(水)13:30～14:30 周南市市民活動センター

・話題 ①新年の抱負

②健康管理に関する意見交換

企業支援部会

【部会】 中止

【活動報告】・新年のご挨拶

株式会社 はつもみち

日本精鑑(株)

・1月30日(月) 14:00～ 周南総合庁舎

周南地域6次産業化・農商工連携関連事業推進会議 出席

事務局

★2022年給与所得の法定調書

各市役所、税務署提出

納税

★新入会員入会

藤井広行氏

企業支援部会で活動予定

より詳しい活動内容については、AYSA 会議室に各部会より提出されたものをファイルしてあります。